

令和6年度 第2回久留米市立図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和7年2月21日（金）午後14時00分～15時00分
- 2 会 場 久留米市立中央図書館 3階会議室
- 3 出席者 山田会長、梅野副会長、境委員、永松委員、鳥越委員、稲益委員、菊地委員、
塚本委員、山野委員
（欠席者：友野委員、大鶴委員、中島委員、高山委員、富田委員、永利委員、玉岡委員）
- 4 事務局 井手館長、白谷主幹、臼井司書主幹、田中補佐、有田主査、深川主査、中園
- 5 次 第
 - （1）開会
 - （2）議事
 - ① 令和6年度 久留米市立図書館事業報告
 - ② 令和7年度 久留米市立図書館事業スケジュール
 - （3）その他

～ 質 疑 応 答 ～

委 員：読書郵便とはどのような事業か。

事務局：図書館が読書郵便の郵便ポストとハガキを小学校の図書館に設置し、児童に自分が読んだおすすめ本の紹介を書いて投函してもらう。それを図書館が回収し、館内でハガキと一緒にそのおすすめ本を展示するもの。

委 員：①ブックスタート事業について。予約制を廃止したと報告があるが、赤ちゃんはその日の体調で参加できないこともあるため、とても良い取り組みと考える。
②読み聞かせボランティア養成講座の参加者は何名か。

事務局：②74名が参加。

委 員：電子図書館について。学校との連携でどのように活用されているか。

事務局：各生徒のタブレットのトップ画面にアイコンを作るなど、教育部と協力体制をとりながら電子図書館の利用促進に取り組んでいる。

委 員：これからの図書館に求められるのは「居場所づくり」だと考えるが、「子供の読書活動推進計画」の策定の中にも盛り込まれる予定か。

事務局：第5次計画の内容についてはまだ未定のため、ご意見をいただいたことも含め、今後検討していく。

委員：貸出者数と貸出冊数の推移をみると令和5年度、6年度は減少傾向にあるようだ。これについてどう考えるか。

事務局：令和6年度の数值は1月末現在の数字のため、約10ヶ月の数字になっている。
令和5年度に減少しているのは、田主丸館の休館が主な要因である。

委員：以前に比べると学生の図書館の利用頻度が下がってきている。今後どうやって一般の利用者に足を運んでもらえる魅力ある図書館にしていくのか。居心地の良い「居場所づくり」が図書館の課題になっている。

委員：電子図書館の広報について。図書館内、市役所、総合支所にチラシを設置しているが、手にしているのは普段図書館に行く人や興味のある人だけ。普段あまり本に接することがない人が通るような場所や、フリーペーパー等の紙媒体を活用することで興味を持って気軽に手にしてもらえるのではないかと。

事務局：指摘の通り、HP等の電子媒体で広報すれば利用が伸びるということはない。12月に図書館利用者に対して電子図書館のチラシを直接配布したところ利用が伸びた。チラシ配布を継続しつつ、助言頂いた取組みについて検討していく。

委員：第5次子ども読書活動推進計画の策定について。来年度の協議会メンバーは現在と同じか。

事務局：現委員の任期は令和8年6月まで。

委員：全3回の審議で十分か。委員の中にはすでに策定内容について意見を持っている方もいる。どのようにその意見を拾い上げていくのか、いつまでに意見を準備しておく必要があるのか等を事前に伝えておいた方がよいのではないかと。

事務局：軽微な連絡等についてはメールで進めさせていただく。案を作成する前に意見をいただき、案に反映していきたいと考えている。

委員：学童の子供たちがあまり本を読まなくなっている。本が汚れているのが気になっているらしいが、学童で読まれる本は除籍本を利用しているのか。

事務局：学童で読まれている本には2種類あり、図書館から団体貸出として貸出している本と、一旦除籍した本を再活用図書として学童が取りに来られたものがある。団体貸出として貸出している

本は廃棄予定の本ではない。以前も学童で読まれている本は傷んでいるものが多いと意見をいただいていたので、子供たちに喜んでもらえる本を選書するようにしているが、再度確認する。

(その他)

事務局：令和7年度は第5次子ども読書活動推進計画策定の年。可能なものに関してはメール連絡で進めていきたいと考えているので、委員のメールアドレスを登録させていただきたい。

委 員：内容が長文になることはあるか。

事務局：内容が多くなる場合は、資料を郵送する。